



図書館だより2・3月号



日高高校・附属中学校図書館

2月の和風月名は如月。国立国会図書館の「日本の暦」サイトでは、如月を「衣更着(きさらぎ)とも言う。まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する(更に着る)月。」と説明しています。旧暦の説明なので今より一ヶ月ほど遅い時期ですが、今のこの寒さにも当てはまる意味ですね。ついでに、そのサイトに載っている暦クイズに挑戦してみてください。第一問だけ紹介します。

下の絵の、船の絵に隠れている月をさがしてみましょう。

答えは下記 URL、国立国会図書館電子展示会にあります。

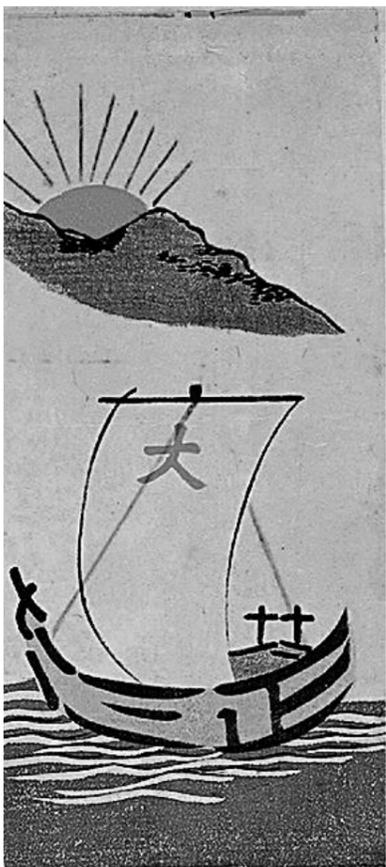
<https://www.ndl.go.jp/koyomi/quiz/index.html>

昔の暦の決まりや、うちくも知ることができて面白いですよ。また、暦のことだけではなく、ほかにもいろいろなテーマで国会図書館が所蔵している資料を紹介しているので、ぜひのぞいてみてください。

3年生から寄贈していただきました

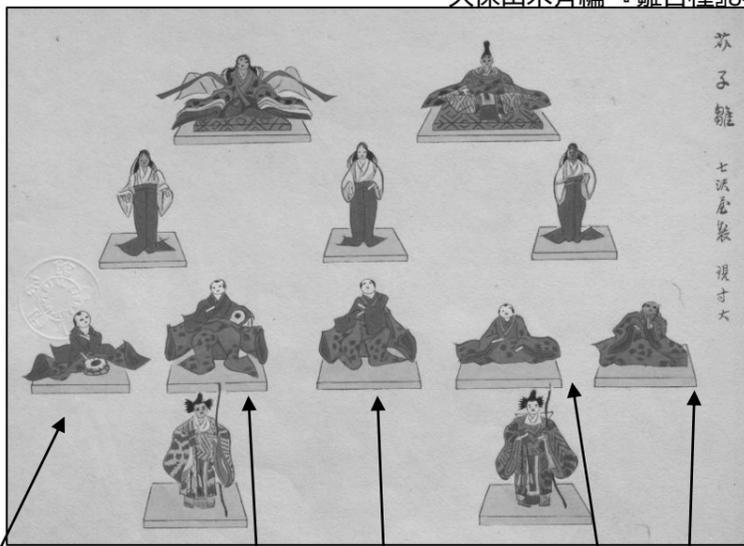


3月に卒業式を迎える3年生から、卒業記念として本を寄贈していただきました！全部で167冊、小説から漫画、科学、進路関連の本と、幅広いジャンルでそろえています。現在発注中で借りられるようになるまでもうしばらくかかりますが、3月には皆さんに利用してもらえます。楽しみにしててください。



3/3ひなまつり

久保田米斉編『雛百種』より



太鼓

大鼓(おおつづみ)

小鼓(こつづみ)

笛
謡曲(うたい)

3月3日はひなまつり。七段飾りを飾るのは珍しくなってきましたが、童謡「ひなまつり」の歌詞にも出てきますし、お雛様とお内裏様、三人官女、そして五人囃子までは見たことがある人も多いのではないのでしょうか。その五人囃子、2月の芸術鑑賞会で能楽を鑑賞したときに説明していただいたように、右から謡、笛、小鼓、大鼓、太鼓の順に並んでいます。演奏するのはこどものことが多いですが、大人の人形もまねに飾られています。地域で雛人形をたくさん飾って観光の目玉にしているところもあるので、機会があったらいろいろな雛壇を見てみるとおもしろいです。



『日本の装束解剖図鑑』

八條忠基/著

古代より平安、鎌倉、江戸から明治から現代まで幅広い時代の装束を解説しています。どんな素材か、いつ着るのか等知りたいことがほぼ網羅された、見るだけで楽しい本です。

お知らせ いったん全部返却してください

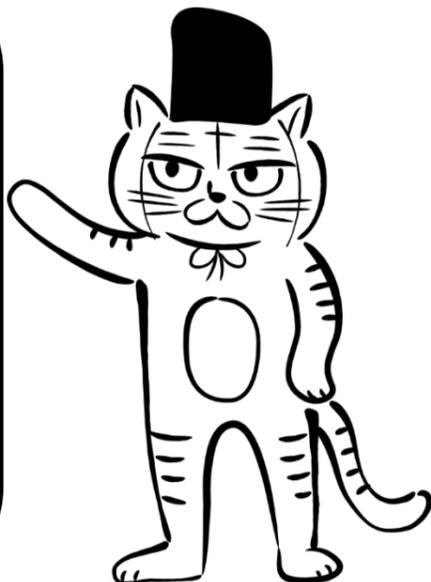
例年年度末に全部返却してもらっていましたが、今年から春休み中も貸出ができるように、3月初旬に蔵書整理を行うようスケジュール変更しました。

そのため、貸出期間を3月6日(木)までとします。

3月5日に貸し出した本も返却期限は3月6日となりますのでご注意ください。6日に返却されなかった場合、紛失したとみなし、すべて現物で弁償してもらいます。

3月7日(金)から3月12日(水)は開館しますが、貸出はできません。

貸出再開は3月13日(木)になります。



司書の編集後記

早いもので今年度もあとひと月ほどになりました。皆さんは4月になれば学年がひとつ上がり、新しいステージに進みます。学校を出て働いている大人は、年度が変わるといっても、自分の生活が大きく変わるわけではなく、毎シーズンのノルマが、とか、決算が、とかの意味しかないわけです。ただ、学校で勤めていると、教える内容も教える相手も変わります。ほかの職種の大人とは違って、大人も子どもも、フレッシュな気持ちで新年度を迎えられるのです。

図書館はこの年度末という時期に、1年を総ざらえて反省すべき点は反省し、改良できるところはより使いやすく、といった作業をします。先月号で今年度はヘビ年、DAPPIの年、と決めたので、さらに使いやすいように魅力的な空間を目指して、春休みに作業します。4月には一皮むけた日高高校・附属中学校図書館を見に来てください。と書いて、自らハードルをあげて自分を追い込むという暴挙に出ています。周りに公言することで実現するしなくなるという方法も時には有効です。将来への明確な目標があるなら、紙に書いて貼っておくのです。それが風景と同化してしまわないよう、声に出して読んで、耳からインプットしましょう。だんだん本気になって自分でもなんとかできそうな気持ちになります。新しい学年に向かってガンバレ!!